

今号は病院長に、令和3年度病院の推進していく事業について寄稿いただきました。

令和3年度を迎えました。昨今の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)流行により社会全体が大きな不安に直面しています。徳島大学病院は先進医療を実践する特定機能病院としての機能を担いつつ、県民をCOVID-19から守るために職員一同全力で取り組んでいます。前例のないCOVID-19パンデミックに対峙し、本院の大きな使命を果たすためにご尽力頂いている職員の皆様に心より感謝いたします。

1.COVID-19対策：SARS-CoV2コアメンバーミーティング(病院執行部・感染制御部)を中心に外来、検査部、病床運用での対策を図っています。COVID-19を院内に持ち込まない、院内で拡大させないことを基本に、発熱トリアージ外来を整備し、毎日3000人程をスクリーニングしています。検査部はPCR検査を導入し、疑い患者、感染ハイリスク領域患者の術前検査には抗原定量検査で対応しています。本年度から流行拡大を受け入院前全例検査を行なっています。救急集中治療部、呼吸器膠原病内科、看護部による集学病棟HCUでの重症者診療体制を構築しました。最近では全診療科横断的な支援チームが診療支援に加わっています。4月末には診療の利便性を上げるためHCU隣接の旧透析室を陰圧病床に改修しました。現在、対策強化のために大災害時にも臨機応変に使用できる多用途型外来トリアージ棟を建設中です。9月までには西外来棟に連結した検査・診察を一体運用できる施設が完成します。

2. 病院センター機能の充実：看護師特定行為研修センターでは、習得区分数を増やし領域別パッケージ研修やコース研修を加え多様な研修を可能としました。疾患病態を深く理解し特定行為を理論的に行える看護師を育成します。周術期管理センターでは医科歯科連携の強みを生かし、術中のインシデント発生予防として全酔下マウスプロテクターの作成と手術時着用を推進します。総合臨床研究センターでは、治験・臨床研究支援に加え、大学URAと連携し企業とともに実用化できるシーズ開発に力を入れていきます。社会に対して新しい価値を創造する病院イノベーション力を高めていきます。

常に柔軟で迅速な病院運営を心がけ、働き方改革を進めるための委員会設置や働く場の環境整備と診療の質向上/効率化、病院経営の発展に努めますので宜しくお願いいたします。

病院長 香美 祥二

R2.3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3.1月	2月	3月	4月		
病院出入口制限				面会制限						入院患者 外泊禁止		開院時間 8時開始			
外来発熱トリアージ開始(ユニバーサルマスキング、PPE)															
		来院時体調チェック票運用													
			サーモグラフィー設置												
		発熱トリアージ外来設置										多用途型外来トリアージ 棟建設開始(8月末竣工)			
			院内PCR検査開始						抗原定量検査 (ハイリスク検査、分娩前、術前検査)					時間外・急患用 PCR機器設置	全入院前 患者検査
COVID-19重症者診療体制整備															

副病院長（看護担当）に、おすすめの本について寄稿いただきました。

看護部長の高開です。さて、今回おすすめの本ということですが、私が今一番好きな作家は湊かなえさんです。彼女のミステリーは、「イヤミス：嫌なミステリー」と言われているそうです。確かに読んでいる最中は引き込まれ、寝る時間を削って没頭してしましますが、読んだ後、何とも言えない悶々とした気持ちになりますので、ああ、なるほど！と思います。出張の際など、長い移動時間がある時は必ず駅や空港で単行本を買っていました。以前モンゴル渡航の際には3冊一気に読んで、気分が悪くなった事もあります(笑)「望郷」「ユートピア」から読み始めましたが、イヤミスをどっぷり味わうには「告白」「白ゆき姫殺人事件」「贖罪」等がお勧めです。「リバーズ」「夜行観覧車」も好きです。多くが映画になっているので「読んでから見るか、見てから読むか」と考えるのも楽しいと思います。登場人物のそれぞれの背景が深く様々な場面に関係してくるので、ストップできない魅力があります。

他には、東野圭吾さんや貴志祐介さんも好きです。また、恥ずかしながら若者向け小説の住野よるさんも好きで、「君の臓腑が食べたい」は新幹線の中で読み、周りをはばかりず号泣してしまいました。気に入った作家は続けて数冊読んでみる事にしています。

お勧めとはいきませんが、今まで人生の中で一番衝撃を受けたのは、ディブ・ペルザーの「It」（それ）と呼ばれた子です。作者本人が受けた虐待の実話です。読んだのは18年くらい前になりますが、今でも虐待の話を聞くとこの本の場面が浮かんできます。当時は、作者が今どうしているのか、日本の現状はどうなのかと調べたりしました。そして児童虐待を違う視点で扱った天童荒太さんの「永遠の仔」に夢中になりました。これも思い出だけでも涙・涙で、どこかに救いを求めて・・・また涙です。

考えてみると、昔から暗くて重い小説が好きなようで、ネクラな自分を改めて認識しましたが、職場ではコロナに負けないよう最後まで明るく元気に進んでいきたいと思っています。残り半年どうぞよろしくお願いいたします。

副病院長（看護担当）高開 登茂子



昨年、水漏れトラブルで
たくさんの本がダメに... 😞

令和3年度病院執行部新役員の方々に寄稿いただきました。

歯科担当

湯本 浩通 副病院長



本年4月から徳島大学病院副病院長（歯科担当）を拝命いたしました。私は、平成29年に歯周病科・診療科長に就任し、昨年5月から病院長補佐（医歯連携担当）を務めておりました。主に歯周病や歯の中の神経と根の先に生じた炎症に対する治療を専門としております。近年、歯周病などの口腔感染症と全身疾患との関連が数多く報告され、さらに、口腔ケアにより入院期間の短縮や手術後の合併症が減少することなどが示されており、医科歯科連携の重要性が年々高まっています。このことから、昨年度より歯科診療科全体の取り組みとして、口腔管理センター内の周術期口腔機能管理体制を一層強化いたしました。今後も安全・安心かつ高度・先進的な歯科医療を提供できるように運営し、地域の皆様のQOLの向上に努めて参りたいと思いますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

医療安全管理担当

高木 康志 副病院長



この度、4月から副病院長(医療安全管理担当)を拝命いたしました、脳神経外科の高木です。私は、これまで病院長補佐として執行部に参加させていただいておりましたが、今回、医療安全管理を担当させていただくこととなりました。現代の医療においては、安心・安全で質の高い医療を提供することが大学病院の使命です。安全管理部や感染制御部をサポートして、これまで以上に地域の皆様に貢献できるように、力を尽くしたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

医歯連携担当

河野 文昭 病院長補佐

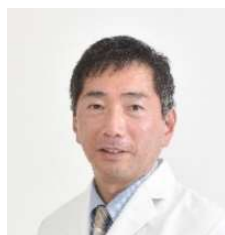


4月から病院長補佐を拝命しました総合歯科診療部の河野文昭です。平成16年から病院長補佐、副病院長、医療情報部長として病院の運営に関わってきましたが、香美病院長のもと、病院組織も大きく変わりましたので、初心に返り、医科・歯科連携に力を注いで行きたいと思っております。よろしくお願い致します。

現在、歯科部門では、医科歯科連携として、周術期口腔機能管理や全身麻酔時のマウスプロテクターの作製、睡眠時無呼吸症候群の治療をはじめとして、口唇口蓋裂センターやNSTに参画しております。医科、歯科の2つが開設されている徳島大学病院のメリットを最大限に活かし、他の病院との差別化をはかり、患者の皆様から信頼を得られる医療を提供したいと考えています。ご理解とご協力の程、よろしくお願い致します。

ダイバーシティ・環境担当

三田村 佳典 病院長補佐



この度、病院長補佐（ダイバーシティ・環境担当）を拝命いたしました眼科の三田村です。徳島大学に赴任しましてから11年ですが、今回が初めての病院執行部となります。不慣れな点もあるかとは思いますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。現在の業務としては院内無料Wi-Fi環境の導入・維持管理等、院内の環境改善に向けて、患者さんをはじめ広く経済的なご支援をいただくために徳島大学病院基金を立ち上げる準備を進めております。就任から日が浅く、まださしたる貢献もできておりませんが、徳島大学病院のダイバーシティ・環境の改善に微力ながら尽力したいと思っております。

簡単に自己紹介をしますと、生まれは埼玉県で幼少時は関東地方を転々とし、北海道大学に入學し、釧路や富良野の関連病院へ出向した後、東邦大学佐倉病院、札幌医科大学、千葉大学へと転勤し、振り返ってみますと徳島にはこれまでの人生で一番長い期間を過ごしております。

病院新採用職員のご紹介

消化器・移植外科

和田 佑馬 特任助教



令和3年度より徳島大学病院消化器・移植外科特任助教として着任いたしました和田佑馬と申します。出身は徳島で、徳島大学医学部を卒業後、大阪の一般病院で臨床研修とがんセンターでの外科臨床に従事、4年前に消化器・移植外科に入局、2年間のアメリカ留学を経て、現在に至ります。診療内容として、消化管グループに属し、胃がん、大腸がんをはじめ、腸閉塞、虫垂炎、ヘルニアなどの手術を担当しております。今後はロボット手術などの最先端医療にも携わりながら、日々精進したいと存じます。まだまだ足りない点は多いですが、徳島県の医療に少しでも貢献できるよう邁進してまいりますので、ご指導の程、宜しくお願い申し上げます。

かみあわせ補綴科
生田目 大介 助教



令和3年4月より徳島大学病院かみあわせ補綴科助教として着任致しました生田目大介（いくためだいすけ）と申します。たくさんの先生方とのご縁やご配慮があり、こうして現職に至れたことはいくら感謝してもしきれません。最初は戸惑うことが多く、色々な方に手助けしていただきながら、ようやく少しずつ仕事にも慣れてきたところであります。

かみあわせ補綴科は通常の補綴治療に加えて、インプラント義歯や顎義歯、さらには歯科用金属アレルギーや顎関節症、口腔顔面痛の治療も行っております。勉強すべきことが多く入職当初から学びの毎日です。

休日はオンラインで趣味のプロレス観戦をしています。未熟な部分も多くありますが、患者さんの心に寄り添った治療を心掛けて、日々精進してまいりたいと思います。

麻酔科
松田 みゆき 医員



令和3年度より麻酔科に入局いたしました松田みゆきと申します。徳島大学を卒業後、徳島大学病院を中心に県立中央病院や県立三好病院での初期研修を経て現在に至ります。麻酔科では1例ごとに術前回診を行い事前に入念な麻酔計画を立て、毎朝カンファレンスで検討し、術中の麻酔管理を行っています。術後の疼痛管理には術中からの全身管理が重要となりますが、患者さんの全身状態や手術の術式によって管理方法が大きく異なるため、症例ごとに指導医の先生方から多くのことを学ばせていただいております。全身麻酔に加えて硬膜外麻酔や末梢神経ブロックなどの区域麻酔を行うこともあります。良好な疼痛コントロールが得られた時の達成感はひとしおで、麻酔科医として充実した日々を過ごしています。

まだまだ至らない点ばかりですが、精進して参りますので今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

内分泌・代謝内科
大前 博司 作業療法士



令和3年4月より入職し、医療技術部・リハビリテーション部門で作業療法士として勤務しております、大前博司と申します。前職として回復期リハビリテーション病棟や専門学校の専任教員の経験を経て、現在は入院患者様のリハビリテーションに携わっております。手術前後の身体機能の回復だけでなく、精神的にも楽しくリハビリテーションに取り組んでいただけるように心掛けています。また、心身だけでなく社会復帰に向けて個々人の住環境や就労状況などの背景にも着目して支援して参りたいと思います。

リハビリテーション職種が関わるのは1日の中でも限られた少ない時間ですので、多職種の皆様から色々ご教授いただきながら協力し、患者様の社会復帰の一助となれるように精進して参ります。まだまだ未熟で至らぬ点多々ありますが、何卒よろしくお願い致します。

西病棟4階所属
三野 玲菜 看護師



令和3年4月に西病棟4階に配属になりました。三野玲菜と申します。西病棟4階は、循環器内科・腎臓内科・心臓血管外科の混合病棟で、心不全や不整脈治療、心臓カテーテル検査、腎不全に伴う透析療法、閉塞性動脈硬化症への治療を受けられる方が多く入院されています。循環器疾患を抱えている方々は循環動態が変動しやすく、バイタルサイン測定・観察・心電図の読み取りから患者さんの小さな変化に気づき、アセスメントすることが求められます。自身の知識・技術の未熟さに悔しい思いを感じる毎日ですが、患者さんの「ありがとう」という言葉や、傍で支えて下さる先輩方の優しく丁寧なご指導のおかげで、新人看護師として充実した日々を送っています。私に成長するための意欲を与えてくれる患者さんや、尊敬する先輩方の下で学びながら働ける環境に感謝し、自身の看護を高められるよう精進してまいります。

経理調達課調達係
山田 真里 事務員



令和3年度より経理調達課調達係へ配属となりました。山田真里と申します。この度母校である徳島大学に縁があり、4月より徳島大学病院に入職いたしました。

経理調達課調達係では、診療などに使用する医薬品や医療材料をはじめ、現場の皆様が使用する様々な物品の調達・契約を行っています。私はその中でもSPDに関わる業務を主に担当しております。慣れない用語が多く勉強しながらではありますが、業者の方や周りの方と連携を取り、物品を滞りなく現場に届けられるよう業務に取り組んでいます。

今は未熟な部分が多くありますが、周りの方々にご指導いただきながらなんとか日々を過ごしています。学んだことをしっかり身につけて、現場の皆様を支え、病院に貢献していけるよう精進してまいります。どうぞよろしくお願い致します。

NEWS・イベント大募集！

「Harmony」は、病院職員を対象に、院内情報の伝達や職員のコミュニケーションの活性化などを目的として発行しております。行事やイベントなどのNEWSや院内で周知してほしいTOPICSなどがありましたら、どんどん病院総務課広報・企画係（bsoumuss1@tokushima-u.ac.jp）までお寄せください。また「Harmony」で取り上げたら良いと思うテーマなど、ご意見・ご提案もお待ちしております。

